

## 地域特講C(福井の文化資源とまちづくり)

科目名/提供大学名	福井の文化資源とまちづくり／福井県立大学【双方向授業メイン配信地:福井県立大学】
科目名(英文)	Special Lectures about Regional Study C
対象学年	1・2・3
開講時期	後期
単位数	2
科目区分	原則として、選択。
授業形態・開講形態	講義
担当教員名	朝倉 由希
オフィスアワー	メールで対応します。また講義の前後に質問等を受け付けます。
教員メールアドレス	y_ninomy@ybb.ne.jp
概要	地域に伝わる有形無形の文化財、伝統行事、文化芸術活動といった「文化資源」は、地域の魅力を形成し、観光資源ともなり得、まちづくりの核となるものである。本授業では、文化を支える社会的制度について学ぶとともに、福井県内の具体事例(文化施設の現状、一乗谷朝倉氏遺跡、小浜の食文化、各地の無形文化財等)を取り上げ、文化資源を活用したまちづくりのあり方や、課題・展望を学ぶ。
授業目標・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化とは何かを理解し、社会の発展や地域コミュニティにおける文化の重要性について認識を深める。</li> <li>・福井県内の文化資源を知り理解を深めるとともに、地域に対する誇りの意識を持つ。</li> <li>・地域文化発展の担い手となる意識を育て、将来的にどのような立場で何をやるべきか、具体的なアイデアを持てるようになる。</li> </ul>
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input checked="" type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化とは何か、社会の発展や地域コミュニティにおける文化の重要性とは何かについて、考えが述べられるようになる。</li> <li>・特に現代社会の課題に対し文化が果たし得る役割について独自の考えを持てるようになる。</li> <li>・文化政策の基本的な仕組みや制度について理解したうえで、現代社会で起こっている課題や、福井特有の課題について理解する。</li> <li>・文化を通じ、福井の地域づくりはどうあるべきかについて考えを持てるようになるとともに、担い手としての意識を高める。</li> </ul>
授業計画・授業内容	<p>第1回 導入 ～なぜ、「文化」か。「文化」とは何か。「文化資源」とは何か。～</p> <p>第2回 芸術文化振興の歴史</p> <p>第3回 芸術文化に関する制度</p> <p>第4回 芸術文化を支える多様な主体(企業メセナ、アートNPO)</p> <p>第5回 創造都市論 ―文化による地域発展の可能性―</p> <p>第6回～7回 アートプロジェクト 事例の紹介と検証(武生国際音楽祭 ほか)</p> <p>第8回 文化財保護の国内の仕組み(文化財保護法)</p> <p>第9回 文化財保護の国際的な仕組み(世界遺産、無形文化遺産)</p> <p>第10回 文化財とまちづくりの関係 ～文化財の保存と活用の在り方～</p> <p>第11回～14回 福井県内の文化財とまちづくり 具体事例をもとにした課題と展望(一乗谷朝倉氏遺跡 ほか)</p> <p>第15回 まとめと復習</p>
授業方法	講義形式
キーワード	文化政策 文化資源 まちづくり アートによる地域再生 文化財の保存と活用
教科書	なし。授業ごとに教材を配布。
参考書	<p>授業では使用しないが、理解や興味を深めるための参考文献をいくつか紹介しておく。</p> <p>佐々木 雅幸著『創造都市への挑戦——産業と文化の息づく街へ』、岩波現代文庫、2012年</p> <p>佐々木 雅幸他著、編集『創造農村: 過疎をクリエイティブに生きる戦略』、学芸出版社、2014年</p> <p>小林真理編『文化政策の現在』【全3巻】、東京大学出版会、2018年</p>
評価方法・評価基準	授業中の参加態度(30%)、期末レポートの結果(70%)の総合判定とする。
関連科目	
履修の要件	
必要な事前・事後学習	授業で指示した資料や事例について調べてくる。
その他・注意事項	新聞やTV等で文化に関連する事柄をチェックし日常的に問題意識を持つこと。